

宏報



## わしま

一人口の動き—	
7月末現在	( )は6月末との比較
出生 2人	死 亡 7人
新 入 5人	転 出 7人
世帯数 1,238世帯(-1)	
男 2,845 人 (-5)	
女 2,917 人 (-2)	
合 計 5,762 人 (-7)	

和島まつり  
民謡流し

読者リレー

阿弥陀瀬 八子栄一



整備された県道



不燃物処理場

小島谷駅を降りて東南に約四糠、広い小島谷部落を通り抜けてつきあたる所が三十一戸の点在する部落阿弥陀瀬である。七、八年前までくねくね曲った反圃の中の道を自転車で通勤し吹雪の朝など全然道形がわからず何回か立止まって見当つけて通つたものです。又荷車などに出会うものなら畦に足をふみ入れてすれ違わなければならなかつたのです。戦後多くの先輩諸氏の努力と村の御指導に依り県道与板寺泊線がつけられると話がなつた頃こんな立派な道が出来るとは思つてもいませんでした。通

路も出来、塩入トンネルの拡張工事前に迂廻路として全線舗装となり交通量も多くなりました。昭和四十三年から三島町との連絡道路も林道として三ヵ年計画で工事が進められ四十六年には完成し、後日県道に認定してもらい、不燃物埋立地もこの道の頂上にあります。又河川も二級河川小島谷川も部落内は今少しで改修が終り、更に上流の砂防河川も毎年継続事業として工事が行われております。久し振りに訪れた人達は部落の道路、河川の変り様に驚いて居ります。しかしながら未だ河川を改修せねばならぬ所が多くあり、道路も自動車で行く時の距離感は非常に短縮されましたが歩いて通学する小學生、冬季間の中学生等やはり、考えて行かなければと思ひます。これらはこれから課題ではなかろうかと思つております。

事前に迂廻路として全線舗装となり交通量も多くなりました。昭和四十三年から三島町との連絡道路も林道として三ヵ年計画で工事が進められ四十六年には完成し、後日県道に認定してもらい、不燃物埋立地もこの道の頂上にあります。又河川も二級河川小島谷川も部落内は今少しで改修が終り、更に上流の砂防河川も毎年継続事業として工事が行われております。久し振りに訪れた人達は部落の道路、河川の変り様に驚いて居ります。しかしながら未だ河川を改修せねばならぬ所が多くあり、道路も自動車で行く時の距離感は非常に短縮されましたが歩いて通学する小學生、冬季間の中学生等やはり、考えて行かなければと思ひます。これらはこれから課題ではなかろうかと思つております。

## 建設工事に係る入札経緯の公表について

和島村では、建設工事に係る入札経緯について次により公表することにしましたのでお知らせいたします。

1. 経緯を公表する入札 落札金額が、500万円以上の建設工事にかかる入札とする。
2. 公表期間 入札の日から1週間とする。
3. 公表の場所及び方法 和島村役場総務課で閲覧とする。
4. 実施期日 昭和57年9月1日以後の入札からとする。

## 就業構造基本調査に御協力下さい!

本調査が実施されます。この調査は国民の皆さんのが業不就業などの実態を把握して、雇用対策など行政の基礎資料となる統計を作成するために行われるものです。この調査のため、和島村では次の部落が選ばれました。選ばれた世帯には、九月下旬に調査員が伺いますので御協力をお願いします。

部	落	調	査
村	駅前的一部	坂田	善平
田	日野浦	早川	国彦
口	矢沢	健一	

## 斎場使用について

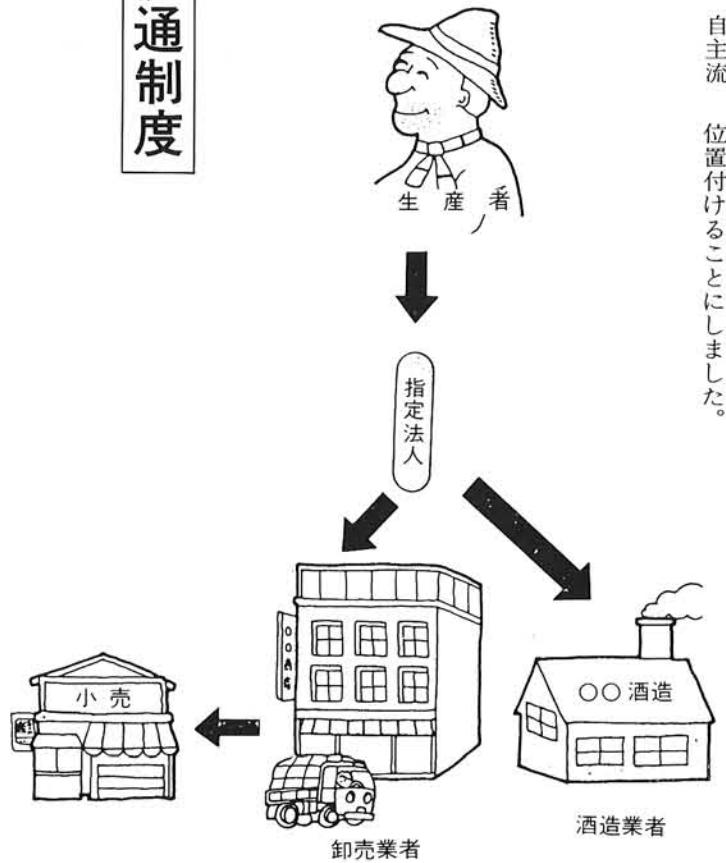
来る9月20日より25日の間、斎場の内装補修工事のため、斎場が使用出来ませんのでこの間の使用については、寺泊町の斎場を使用することになりますのでお知らせいたします。

運転が示す あなたのお人柄





## 自主流通制度



自主流通制度は民間流通の長所を生かしながら、消費者好みに応じた米の供給を図るという意図の下に発足しました。

そこで、生産者が自主流通による販売のための売渡しの委託をするときは、生産者の政府への米穀の売渡義務が解除される、と規定して、自主流通米を法律上明確に位置付けることになりました。

## 早わかり 食管法(2)



通米の数量は、発足時以来、着実に増加し、近年では自主流通米の数量が政府で管理している米全体の中でも相当な割合(約1/3)を占めているという実績に加えて、これからもこれが、品質別の需給や価格の面で重要な役割を果たすべきものと考えられています。

こうして、自主流通制度は法定化されましたが、管理運営においては、これまでと同様に生産者や消費者の自動的な活動により達成されるものに変わりなく、すなわち、指定法人が農林水産大臣の許可を受けた自主流通計画の枠内で流通する米が自主流通米ということです。

- ①供給計画にあわせ自主流通計画も四ヵ月ごとに定める。
- ②一定の計画数量を設定する。



## 和島村を訪ねて 河津右近の館跡並久須美家譜(二)



この系図によると初代は、豆洲之刺史伊藤従五位下久須美四良大夫藤原家継とし五代曾我十郎祐成は、父の仇討をとけて、建久四年五月二十八日夜丑の刻死去す。年二十歳と書かれている。六代が久須美權兵衛祐寛は、建久四年九月上洲白井郷に誕生、元久二年(1205)九月、十三歳にして越後国三島郡逆谷村に来住す。後に小島谷村の鹿島宮の上の住人也文永十一年(1274)甲戌八月二日卒す、八十二歳也。と誌されている。

別の久須美家の系図には此の人を初代としているが温古の栄に出ている。

久住熊三郎氏より

「早くほど 減らす燃料 増す危険」

## 早わかり 食管法(2)



自主流通制度は民間流通の長所を生かしながら、消費者好みに応じた米の供給を図るという意図の下に発足しました。

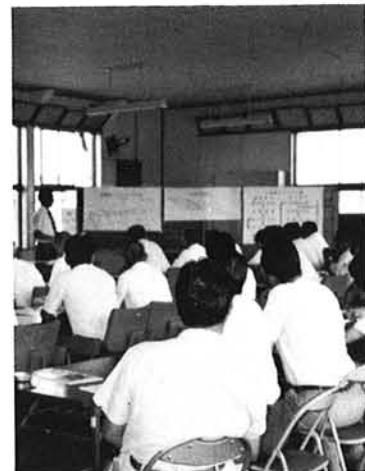
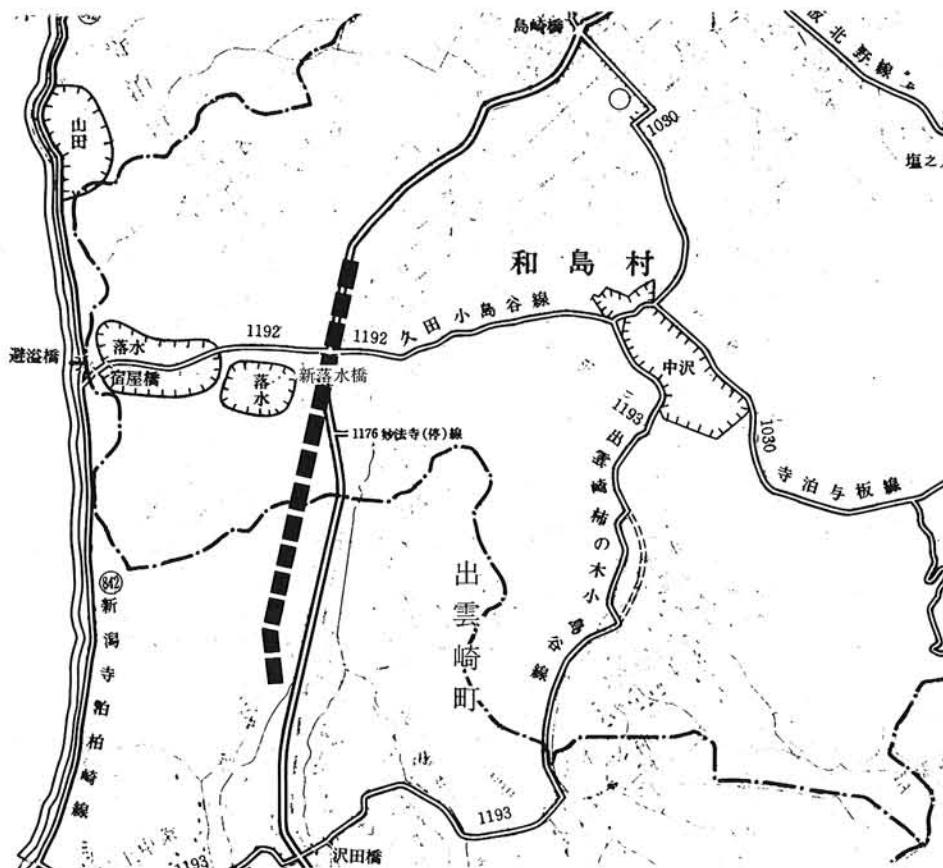
そこで、生産者が自主流通による販売のための売渡しの委託をするときは、生産者の政府への米穀の売渡義務が解除される、と規定して、自主流通米を法律上明確に位置付けることになりました。

こうして、自主流通制度は法定化されましたが、管理運営においては、これまでと同様に生産者や消費者の自動的な活動により達成されるものに変わりなく、すなわち、指定法人が農林水産大臣の許可を受けた自主流通計画の枠内で流通する米が自主流通米ということです。

- ①供給計画にあわせ自主流通計画も四ヵ月ごとに定める。
- ②一定の計画数量を設定する。

# 国道116号線改良ルート決定!!

出雲崎町道上中条線より  
両高ライスセンターまで—2.8km



かねてより計画され、調査が行なわれおりました。国道一一六の改計画に基づく路線ルートが八月九日、建設省長岡工事事務所より役場に関係者を集めて発表されました。発表された区間は、出雲崎町乙茂地内より、本村両高地内(両高ライスセンター)までの延長二・八kmであります。



## 村長室の黒板から 和島村長古生様

- |               |                |                 |                 |               |                               |                                |                |             |                |                                |                  |                               |                 |                             |                               |                |                     |               |                 |                  |                        |                                 |                   |            |            |            |                  |            |
|---------------|----------------|-----------------|-----------------|---------------|-------------------------------|--------------------------------|----------------|-------------|----------------|--------------------------------|------------------|-------------------------------|-----------------|-----------------------------|-------------------------------|----------------|---------------------|---------------|-----------------|------------------|------------------------|---------------------------------|-------------------|------------|------------|------------|------------------|------------|
| 七月十三日 県国保理事会。 | 二十四日 上京陳情即日帰郷。 | 十五日 自治会館管理組合議会。 | 十六日 共済組合広域合併会議。 | 十七日 落水海水浴場開き。 | 十八日 島小グランドで開催予定の郡消防大会が体育館で開催。 | 十九日 戦没者追悼法会(隆泉寺)に出席、午後上京、わしま会。 | 二十日 村老連スポーツ大会と | 二十一日 土木振興会と | 二十二日 親子ふれあい教室。 | 二十三日 落水宮田タキさんが多額の銀銅貨御持参寄贈(別記)。 | 二十四日 交通安全表彰伝達のため | 二十五日 早朝村民野球始球式午後消防署職員父兄懇談会出席。 | 二十六日 中条町、県消防大会。 | 二十七日 農業改良普及事業協議会を招集し御参集を願う。 | 二十八日 諸報告の為議会全員視察に同行し小国町安沢牧場へ。 | 二十九日 村老連スキー大会。 | 三十日 三区小学校水泳大会村営プール。 | 三十一日 長岡広域圈会議。 | 三十二日 総会の為妙高高原町。 | 三十三日 陳情の為上京、即日帰郷 | 三十四日 県治山林道協会総会の為妙高高原町。 | 三十五日 午前ガス特別委、午後国道のルート内示が議場で行われた | 三十六日 三古刈羽両郡行政懇談会。 | 三十七日 上京陳情。 | 三十八日 上京陳情。 | 三十九日 上京陳情。 | 四十日 三古刈羽両郡行政懇談会。 | 四十一日 上京陳情。 |
|---------------|----------------|-----------------|-----------------|---------------|-------------------------------|--------------------------------|----------------|-------------|----------------|--------------------------------|------------------|-------------------------------|-----------------|-----------------------------|-------------------------------|----------------|---------------------|---------------|-----------------|------------------|------------------------|---------------------------------|-------------------|------------|------------|------------|------------------|------------|

また、部落あげての応援団には大変心強く感じられました。部落の皆様方ありがとうございました。紙面を通じてお礼申し上げます。

## 第五分団第一部大奮闘!!

八月八日中条町にて県消防操法競技大会が開催され、当村消防団東保内の部が三古郡の代表として出場し、見事な演技を披露されました。

選手の方々、ご協力下さいました。部落の皆様方長い間大変ご苦労様でした。

また、部落あげての応援団には大変心強く感じられました。部落の皆様方ありがとうございました。紙面を通じてお礼申し上げます。

気をつけよう無駄な医療費みんなの負担



# ルポ カナラで ニトニチわ

## お礼のことば

和島まつり大会々長

和島村長 清野精合

村民総参加と銘打ってはじめた  
第一回和島まつりは、天候にめぐ  
まれ全行事を事故もなく盛況のう  
ちに無事終了できました。

今年はじめての催しのため実行  
委員会の共催団体はもちろん、村  
内各部落・村民・事業所より格別  
のご協力をいただき予想以上の盛

りあがりを見せ、誠に喜びに耐え  
ません。

前夜祭の花火大会には村民の方  
々から一二七万八二〇円、村内外  
事業所より二五〇万七千八〇〇円  
の御寄附をいただき、ご覧いただ  
けました様に豪華絢爛の花火大会  
にすることができました。

また、小中学生による鼓笛及び  
ブラスバンド演奏、婦人を中心と  
した民謡流し、青壯年によるカラ  
オケと行事の数こそ少なかつたも

の、村民各層のエネルギーを一  
つに結集できたことは大きな収穫  
であり住みよい村づくりの一助と  
なり今後の発展が期待されます。  
行き届かなかつたところも多多  
あつたと思いますが反省し次回に  
は一層充実したまつりにしたいと  
思います。

おわりに裏方として御尽力いた  
だいた皆様に感謝し、お礼のこと  
ばといたします。

の、村民各層のエネルギーを一  
つに結集できたことは大きな収穫  
であり住みよい村づくりの一助と  
なり今後の発展が期待されます。  
行き届かなかつたところも多多  
あつたと思いますが反省し次回に  
は一層充実したまつりにしたいと  
思います。

出発前の真剣な打ち合わせ



第二回村民文化祭10月31日(日)

作品展 9時~21時 総合福祉センター  
芸能発表 13時~16時 農村勤労福祉センター



小学生による  
鼓笛パレード



裏方さん  
御苦劳様  
でした!



レクリエーションのタペ 19時30分~21時30分 11月1日(月) 作品展 9時~16時 総合福祉センター  
農村勤労福祉センター



公民館で開設しております親子ふれあい教室では、「規律のある共同生活を通して親と子、参加者相互の心のふれあいを深め、自然に親しみ自然に対する愛情を育てる」ことを目的に去る七月三十一日、八月一日（一泊二日）に北蒲原郡黒川村胎内平（四十七年全国植樹祭会場地）でキャンプ活動を行いました。

参加者は大人十五名、小人二十名の四十一名でした。心配された天候も当日は晴れあがり九時に福祉センター前をバスで出発、三時間のバス旅行を楽しみました。正午に現地着。キャンプ村開村のつどいに統一と登つたり下つたり子供は元気で大人の方が少々バテ気味というと参の昼食を涼しい木陰でいただき一休み。

午後二時頃に全国植樹祭会場地を約二時間にわたり散策。丘陵地でテント割をし、先ずは自分の生活の場を確保。その後、家から持行を楽しみました。正午に現地着。六名の四十一名でした。

参加者は大人十五名、小人二十名の四十一名でした。心配された天候も当日は晴れあがり九時に福祉センター前をバスで出発、三時間のバス旅行を楽しみました。正午に現地着。キャンプ村開村のつどいに統一と登つたり下つたり子供は元気で大人の方が少々バテ気味というと参の昼食を涼しい木陰でいただき一休み。

午後二時頃に全国植樹祭会場地を約二時間にわたり散策。丘陵地でテント割をし、先ずは自分の生活の場を確保。その後、家から持行を楽しみました。正午に現地着。六名の四十一名でした。

五時頃から最初の野外炊はんが始まります。夕食のメニューは各班ともにカレーライスということです。女性の方はカレーづくり、男性の方は飯ごうでご飯たきと賑やかです。ふだん飯ごうでのご飯たきなど経験のない人達ばかりなので不安と期待に満ちた顔つきで真剣に二十個の飯ごうと取り組んでおられました。顔や腕をまっ黒にすくさせながら悪戦苦闘、三、四十分して漸くたけたようです。かまだからはずして飯ごうをさかさまに――。暫らくむらしてふたを取つて中をのぞく、やわらかすぎたり、火が強すぎたのか半分以上が黒こげだつたりで家の便利な生活が思い出された一瞬でした。

夜の部は、キャンプファイヤーです。歌を歌つたり、各グループの出し物があつたり、おとなも子供も一緒にグループで約一時間楽しく賑やかに過ごしました。九時三十分やすらかに就寝。

二日目。五時三十分起床。六時朝のつどい、ラジオ体操。午前中野外レクゲームを行い十一時昼食。十二時に新潟の県立自然科学館に向けて出発しました。

幸い天候に恵まれ、事故もなく楽しい親子のふれあいが出来ました。参加された皆様方ごくろう様でした。

『村民親善大運動会開幕近づく』とき/10月

# ☆ ワシマスポーツ ☆ 発表！ 和島村長寿番付!!

東 祝 西

## 和島村長寿番付表

(9月1日現在)

部落名	性別	年齢	氏名	番付	氏名	年齢	性別	部落名
日野浦	女	93	佐藤タケ	横綱	中島マン	93	女	村田
中沢	女	91	大矢スギ	大関	小林ハル	91	女	両高
日野浦	男	91	坂田庄作	"				
中沢	女	90	大矢マツノ	関脇	柳常太郎	90	男	城之丘
若野浦	男	89	久住松平	小結	佐々木ダイ	89	女	日野浦
東保内	女	89	夏井スキ	"	田村タマ	89	女	梅田
若野浦	女	89	細山タマ	"	宮田リシ	89	女	城之丘
下町上	女	88	近藤妙順	前頭	池田チヨ	88	女	中小島谷
根小屋	男	88	笹子善作	"	竹内吉次郎	88	男	下富岡
若野浦	男	87	狩野平治郎	"				

18名(男6・女12)



9月15日は、「敬老の日」。この日は多年にわたり社会につくしてこられた老人を敬愛し、長寿を祝う日です。

和島村では毎年この日、お年寄りを招待し、「敬老会」を開催しております。

今年も9月15日に70歳以上の方々を招いて、午前10時から総合福祉センターで開催いたします。

また、アトラクションには村内保育所の園児等による踊りを予定しております。楽しい一日をお過ごし下さい。



八月十五日に成人式が行なわれました。当日参加者は九十三名(男四十二人、女五十一人)でした。式典の後、作家野本郁太郎氏により「幸せよ永久に、花ムコ、花ヨメの選び方」と題して講演がありました。また終了後、小宴会が催され若さいっぱいの話がはずんでいました。

## 成人式挙行

3日(雨天10月10日) ところ/村民運動広場